

# 高機能部会ご報告



10月21日（火）、札幌市社会福祉総合センターにて今年度4回目の高機能部会を行いました（参加者15名）。今回は、札幌市自閉症・発達障がい支援センターの西尾美里氏をお招きし「学校と連携のしかた、登校できないときの対応等について」をテーマにお話をいただきました。

不登校ってどんな状態？どのくらいの人数がいるといわれている？といった情報にはじまり、どの段階で対策をする？体の不調を訴える時は何科を受診する？誰に相談したら良い？学校に行っていない時間の過ごし方は？きょうだいへの対処は？といった具体的な事柄まで事例も交えながら、子どもたちが心身ともに健康に生活していけるようなサポートの方法や工夫を考える端緒を教えてくださいました。

参加者からの質問では親御さんが大変ご苦労されている様子も伝わり、またアンケートの回答でも「もっと実例を」というご意見も多くありましたので、今後も継続してこのテーマに取り組んでいく必要性を感じました。

冒頭、機械の不調により開始時間が遅れ、講話が駆け足になってしまいましたこと、また参加者との意見交換・質疑応答の時間が充分に取れなかったことを、参加された皆様にお詫び申し上げます。

（報告：下田）



## 次回高機能部会のお知らせ

【日時】平成26年2月26日（木）10時～12時

【場所】社会福祉総合センター

☆平成26年度最後の高機能部会となります。

座談会形式の通常部会です。会員外の参加は一回のみ可。

詳細は次号以降の会報にてお知らせいたします。



★高機能自閉症とは、高機能の目安として「IQ≧70以上」という基準が用いられることが多く、高機能ということが必ずしも知的能力が平均よりも高いというわけではありません。また、IQが130～140台あるような人たちでも、自閉症として「軽い」ということに一直線に繋がるわけではありません。

（社）日本自閉症協会HPより、内山登紀夫先生の解説を一部抜粋→詳しくはHPをご覧ください。